

福岡森林管理署交渉（全国林野関連労働組合福岡森林管理署分会）

議 事 要 旨

1 日 時 平成28年9月14日（木）10:00～11:00（60分）

2 場 所 福岡森林管理署 会議室

3 出席者

福岡森林管理署
同
同

安永 正治 署長
有蘭 敏行 次長
飯星 明 総括事務管理官

全国林野関連労働組合福岡森林管理署分会
同
同
同

副島 利博 執行委員長
峯 良彦 副執行委員長
武藤 良助 書記長
和田 弥己 執行委員

4 交渉事項

- (1) 安全対策について
- (2) 職員の労働条件について

5 議事概要

(1) 安全対策について

組合) 平成28年4月から管理者も体制が変わり、業務を進める上で安全確保することが必要であることから、必要な具体策を講じるとともに、管理者自ら強い意識とリーダーシップによる率先した安全対策の取組を行うこと。

当局) 職員の健康と安全の確保については、新体制においても、これまでの基本的な取り組みが変わるものではなく、人命尊重の基本理念の下で直請問わず職場から災害を発生させないとの強い決意の下、安全に対する取組は最重要と認識しているところであり、必要な対策を講じるとともに、今後とも、職場の安全確保のために管理者として強いリーダーシップを発揮する姿勢で精一杯取り組んで参りたい。

組合) 九州局管内で請負事業者等の4日以上災害が、6月7月の2ヶ月で6件発生し、休業のない災害2件を含めると毎週1件ペースで災害が発生している。

このような状況に対し、事業者の安全意識を高めるとともに、署職員も一人一人の意識高揚が必要であり、安全の取組を疎かにしないようされたい。

当局) 当署においても、類似災害防止のため、安全パトロール以外にも管理者等が機会を捉え巡視や指導を積極的に計画し、安全管理の強化や安全推進活動の活性化を図って参りたい。

(2) 職員の労働条件について

組合) 牽制機能を働かせるためには、仕事の優先順位をつけたり、割り振りや応援体制など全体の回しを考えて実行していくことがリーダーの役割と考える。そのためにも、職場でのコミュニケーションづくりに努めていくべきではないか。

当局) グループ内の業務の実施状況を把握し、組織として業務が円滑に回るよう目配り気配りし、職場でのコミュニケーションづくりに努め、牽制機能が十分機能するとともに円滑な業務運営が図られるよう適切に対応して参りたい。

組合) 福岡署では対外的な案件が多く、苦情処理等対応に苦慮している案件や難しい事案が大半を占め、職員への負担が大きいため、心の病が懸念される。さらに今後、ベテラン職員の退職により一人ひとりの負担が増えると考えられる。我が職場において心の病を発生させることのないよう取り組まれない。

当局) 対外的な事案が多く苦情処理等、職員への負担が大きくご苦勞頂いていることについては、認識しているところである。今後とも業務の実態や職員の状況について、管理者がしっかり目配り、気配りし、個人の負担が過重にならないよう組織として対応して参りたい。なお、各人の様子の変化などは、間近にいる職員が気づく場合も多いので、貴組合のご協力も頂きながら取り組んで参りたい。

組合) 署長が普段から職員の話をよく聞くなど、管理者が中心となって職場全体の雰囲気づくり、心の健康づくりに努められたい。

当局) 日頃から、風通しがよく、明るい職場環境となるよう、職場の雰囲気づくりに取り組むとともに職員の心の健康づくりについても、管理者として率先して取り組んで参りたい。

以上